

主張

日本で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されてから2

年が経過した。ワクチン接種が進み、昨年末にかけて感染者数が急減し、

新型コロナウイルス

ス感染症の流行は一息ついたかのよう

に見えた。しかし

新しく変異し、

海外で爆発的に流行

していたオミクロン株が出現し、人の移動が多くなった年末年始を過ぎ、再び新型コロナウイルス感染者が激増している。

この2年間新型コロナウイルス感染症について、その動態解明や症状に

応じた治療法がほぼ確立してきている。歯科領域で言えば、口腔ケアと新型コロナウイルス感染症の重症化予防の関係である。

また新型コロナウイルス感染症は、細菌との混合感染や二次性細菌性肺炎によりサイトカイン

Stormを引き起こし重症化するものが分かっている。このサイトカイン Stormの引き金になっているのは、嫌気性グラム陰性桿菌であるP.gingivatisを代表とする歯

周病菌の菌体成分であるLipopolysaccharide (以下LPS)と言われている。インディアナ大学歯学部の研究では、エンドトキシンであるLPSが血中に入りエンドトキシン血症になった場合にブラッシングで回復すると

と全身疾患の関わりが解明されてきており、その機能維持や口腔ケアのために定期的な歯科受診と毎日の歯磨きなどのセルフケアは、コロナ禍において感染者の重症化予防という点で重要性が増してくる。

なお保団連では、職場で昼食後の歯磨きによりク

ラスタールが発生したことを受け、歯磨きエチケットの

ポスターを作製したので、それも併せて活用していただければ幸いです。

新型コロナウイルス禍の健康管理と口腔ケアの重要性

「保団連」歯磨きエチケット」で検索

口腔は身体の入り口であり、糖尿病など歯周病

